

2000年度 Block 6

課題 No. 3

「小さくて可愛そう・・・」



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意下さい。

〈課題名〉 「小さくて可哀そう・・・。」

〈児童哲学の取扱い問題〉

〈課題番号〉 2000-B6-T1-3

業者式はく音が聞こえ (A)

耕織の命主・代々襲血・斎血・(心の剥) 香爐と神龜: S でや口で: 藤輪

シート1 勝家・猪飼・吉川・主祭・斎藤と美作・龍驤と

高井あつ子さんはお腹に7ヶ月の赤ちゃんがいて、御主人と一緒に、赤ちゃんの誕生を心待ちにしています。でも、最近、身体がむくんでだるく、頭痛がするようになり、心配になって産婦人科を受診しました。

(柴田平一・器東詩) 斎藤勝家・猪飼氏員: S でや口で: 皆実

抽出事項: 7か月の胎児の発育、浮腫、高血圧、妊娠中毒症

(藤原・猪飼吉川常五) 半蔵主間人: S でや口で

シート2

器血脈・斎血: ひでや口で

高井さんは、産婦人科の先生から「血圧が160/85mmHgと高く、尿に蛋白も出ているようです。それに前回の健診から赤ちゃんがあまり大きくなっていないようなので、すぐに入院して詳しい検査と治療をしましょう。」と言われ、びっくりして御主人に連絡を取りました。

抽出事項: 蛋白尿、高血圧、妊娠中毒症、子宮内発育遅延とその原因(母体側、胎児側)、胎児への不安

(業者の家子る木はく音がでや口で媒土翁今 (O)

皆実御座一木くす千世・林泉小: ひでや口で: 皆実

シート3

入院して、あつ子さんの体調は少し良くなりました。しかし、入院2週目に赤ちゃんの心拍に異常が出て、新生児科の先生にも連絡が取られ、緊急帝王切開が行われました。生まれたのは在胎30週、780gの女の子でした。あつ子さんと御主人がNICUに行くと、赤ちゃんは保育器の中にいて、体にたくさんの器具や点滴がついていました。「小さくて、可哀そう・・・。」あつ子さんは思わず涙ぐんでしました。

【出生時のData】 (足底採血(毛細管採血)でのData)

血液ガス: pH 7.235 (7.25~7.40), PCO₂ 65.7mmHg (30~50), PO₂ 36.5mmHg (40~80), HCO₃ 21.4mmol/L (20~26), BE-6.4mmol/L (-5~1)

血算 : RBC 511万/mm³ ($5.35 \pm 0.58 \times 10^6$) , Hb 20.2g/dl (19.0±2.1) , Ht 58.6% (57.9±4.4) , PLT 8.5万/mm³ (24.7±6.8)
WBC 4500/mmmmm³ ($19.6 \pm 5.6 \times 10^3$)
分画 : Ly. 77% , Netro. 18% , Mono. 5%
(Ly. 27.1% , Netro. 68.9% , Mono. 4.0%)

生化学 : TP 4.2g/dl (4.9~7.0) , AST 27IU/L (11~59) , ALT 5IU/L
(4~21) , TB 1.7g/dl (0.8~3.1) , DB 0.2g/dl (0.1~1.5) ,
ALP 673IU/L (195~648) , LDH 321IU/L (305~850)
BUN 11.7mg/dl (4~20) , Cr. 0.47mg/dl (0.3~0.9) ,
UA 4.9mg/dl (1.8~4.2) ,
Na 135.5mmol/L (135~145) , K 4.8mmol/L (4.2~6.2) ,
Cl 101.4mmol/L (111~112) , Ca 9.4mg/dl (7.6~11.2) ,
P 5.1 mg/dl (4.5~8.8) , BS 35g/dl (25~96) ,
CRP 0.0 (0.0)
IgG 670mg/dl (1031±200) , IgA 3mg/dl (2±3) ,
IgM 12mg/dl (11±5)

(生まれたときの赤ちゃんのレントゲン写真と全身写真を正常新生児と比較して示します。)

抽出事項 : 胎児心拍 ; 遅発性徐脈の胎児仮死兆候

レントゲン写真 ; 赤ちゃんの小ささに気づく、

呼吸窮迫症候群の所見

全身写真 ; 正常新生児との違い (頭が大きいproportion、痩せている) 、人工換気中、点滴・モニターなどが装着された赤ちゃんを見ての感想

血液データ ; 高二酸化炭素血症、呼吸・代謝の混合性アシドーシス、低血糖、多血傾向、顆粒球減少症、
血小板減少症

シート4

数日すると、赤ちゃんは呼吸も楽になり、口から入っているチューブを使って母乳がもらえることになりました。「赤ちゃんの経過は順調です。でも、まだ、ミルクの消化が出来ないので、母乳がどうしても必要です。」と新生児科の先生に言われ、私の母乳で赤ちゃんが育つのだと、少しうれしくなりました。御主人は、看護婦さんから、赤ちゃんはパパに似ていると言われてニコニコしています。今では、保育器の中で頑張っている小さな赤ちゃんがとても愛しく思えますが、この子は元気に大きくなるのか、退院後にちゃんと育てていけるか、医療費の支払いは大丈夫なのだろうかなどと、心配なこともあります。

抽出事項：母乳栄養と人工栄養の比較、子宮内発育遅延の児に見られる機能性イレウスとその原因 (diving reflex)、
低出生体重児の生命・発達予後と成育限界、
低出生体重児に対する公的補助、育児不安

（。すまじ示す）

（。すまじ示す）